

建設産業情報（最近の動向）

在外公館名 在サウジアラビア日本国大使館

記入日 2016年3月6日

1. 現地の建設・不動産市場に係る経済情報

○在中東進出日系企業の実態調査結果（JETRO）

<https://www.jetro.go.jp/news/releases/2016/258c29ac863240f1.html>

2. 建設業制度，入札契約制度，不動産業制度の改正動向

該当なし

3. 報道情報

	タイトル，概要	日付/掲載紙
1	PT Wijaya Karya (Wika ; インドネシアの巨大建設会社) は, Adil AbdulMunief Makki (AMCO ; ジッダを拠点とする建設会社) と戦略的パートナーシップ協定を結んだ。Wika は 2015 年に SAGIA のライセンスを取得し, 2016 年中に総額 2 億 US\$ 以上の契約をサウジと結ぶことを期待している。	1 日 サウジガゼット
2	キング・ファハド・コーズウェイの利用者が月 150 万人に達している。特に週末や国民の休日に多く, レーンを増やしたにもかかわらず混雑が発生している。今後数年間で出入国手続きを行う建物を増やし, 許容量を現在の 5 倍 (1 日 25 万人) にすることを目指している。	3 日 アラブニュース
3	ホサイン水電力大臣は, 上下水道事業の実施に関する同意書に署名した。本事業はサウジ各地で起きている水の供給, およびメンテナンス問題を解決するためのもので, 総事業費は 5 億 3400 万 SR である。	3 日 アラブニュース
4	SWCC が発注予定のジッダ 4 (海水淡水化プラント) の入札締め切りが 3 月 15 日まで延期された。この事業は SWCC が新設する 9 基のプラントのうちの 1 つで, 2020 年までに造水能力を 300 万 m ³ /日まで増やす予定。	4 日 MEED
5	Al-Jadrawi 社は, アブドゥラー国王経済都市 (KAEC) のタラ公園におけるインフラ整備・修景業務フェーズ 4・5 を受注した。事業内容は道路, 歩道, 緑地や公園, 上下水道, 電力, 排水システム, 通信, および街灯の整備で, 事業費は 2 億 4,400 万 SR,	6 日 アラブニュース

	対象面積は約 113 万 m ² である。	
6	ゼネコンのビン・ラーデン・グループ(SBG)が借入金の返済繰り延べについてサウジ及び近隣国の銀行と協議中である。特に同社が手掛けるマッカのグランドモスク拡張工事が対象となっている。公共工事が多い同社は政府の引き締め策でキャッシュフローがひっ迫している模様。	7 日 MEED
7	スレイマン民間航空局 (GACA) 総裁は、サウジ国内で実施している 27 の空港の拡張工事を 5 年以内に終わらせる予定であると述べた。また、現在サウジで活動中の SAUDIA, NAS に加え、Maha, Saudi Gulf, および Nesma といった航空会社が参入する予定であり、公平な価格競争と需要と供給に応じた価格設定が行われるよう、4, 5 年以内に航空運賃を自由化する計画があると述べた。	8 日 アラブニュース
8	現在工事中の環境に優しいとされるグリーン・ビルの 50%は必要な条件を満たしていないとして工事が遅れている。サウジ・グリーン・ビル・フォーラム(SBGF)は約 400 のプロジェクトを検証した。SBGF ではこれまでに 1,500 人以上のエンジニアを訓練し、300 人以上に資格証明を交付している。	8 日 アラブニュース
9	ホサイン水・電力大臣は、サウジが電力事業に対し今後 10 年間で 5,000 億 SR 投資し、さらに民間企業の参入が必要であると述べた。サウジの最高使用電力量は 2022 年に 9 万 MW に達する (現在 7 万 MW) と見積もられている。	9 日 サウジガゼット
10	サウジ観光・国家遺産庁の公式データによると、2015 年上半期で 740 万人がサウジに訪問 (2014 年から 25%増) しており、サウジは未だ GCC 観光者の主要目的地となっている。そのうち 520 万人が宿泊し、約 118 億 SR を消費した。バーレーンとクウェートからの訪問者がそれぞれ全体の 33%を占めており、カタールと UAE がそれに続く。	11 日 サウジガゼット
11	2015 年、サウジの空港利用者数が 8 億 1900 万人に上った。主要な空港ごとに見ると、ジッダ空港が 3 億 100 万人、リヤド空港が 2 億 2500 万人、ダンマン空港が 9400 万人、マディーナ空港が 630 万人であった。	14 日 サウジガゼット
12	海水淡水化公社(SWCC)は Jeddah 第 4 プラントの建設方式を当初の EPC 契約から IWP(独立水事業)に変更することを検討中である。SWCC が独立水事業として入札したのは 2007 年が最後であった。Jeddah 4 は日産能力 40 万 m ³ で、2019 年完成予定。	14 日 MEED

13	サウジ商工会議所連盟の Al-Zamil 会頭がサルマン国王に書簡を提出、政府プロジェクトの支払い遅延により財務状況が危険な企業も出ていると警告を鳴らした。書簡では支払い遅延が続けばこれら企業はデフォルトに陥ると指摘した。Al-Khodari Sons 社は第 4 四半期に損失を計上している。	16 日 MEED
14	GCC 諸国は新しい住宅事業の一部として「スマート・シティ」計画を導入する予定である。この計画は地域構造計画の枠組みであると同時に、持続可能な電力使用のための各国の夢でもある。最終的には、省エネや医療・交通に関する問題の打開が目的である。	21 日 アラブニュース
15	民間航空局 (GACA) は、ダブリン空港会社 (DAA) とキング・ハーリド国際空港ターミナル 5 の運営契約 (5 年) を結んだ。ターミナル 5 は数か月以内に稼働する予定で、1,200 万人の国内線乗客が利用することを見込んでいる。	24 日 アラブニュース
16	リヤドにおける 2,848 戸の住宅建設プロジェクトはその 84% が完成した。リヤド国際空港西の 5 百万平方メートルの住宅開発地に一戸建て 2,242 戸、アパート 606 戸が建設される。リヤドの人口は 490 万人に達し、そのうち 68% がサウジ人である。	24 日 アラブニュース
17	現在マディーナとラービグ間で試運転中のハラマイン高速鉄道は、年央にはジッダ駅からの試運転を始める予定。工事はスペイン企業 12 社が手掛けており全体の 90% が完成済み。全面開通は 2017 年の見込み。	25 日 サウジガゼット

4. その他我が国の建設産業界にとって参考となりうる最近の動向 (報道情報以外)

(サウジ労働事情)

- 1 日 サウジで働く外国人労働者が 2015 年に母国へ送金した額が 1,569 億 SR となった。2014 年の 1,533 億 SR から 2.3% 上昇し、過去最高額となった。(ア紙)
- 3 日 諮問評議会は、民間企業の勤務時間を週 40 時間 (ラマダン中は 35 時間) に減らし、週休二日制とするよう再度主張した。ある議員は時間を減らすことでサウジ人が民間企業で働くようになると述べ、またある議員は最低賃金を月 6,000SR にすべきだと主張した。(ア紙)
- 4 日 サウジの人口が 2015 年末で 3,150 万人 (サウジ人 2,110 万人、非サウジ人 1,040 万人) となり、前年から 751,000 人 (2.4%) 増加した。(サ紙)
- 4 日 ジッダ商工会議所ではコック、ウェイトレス、レセプションистなどレストラン・ホテル部門における女性雇用の可能性を検討している。初任給は 5 千リアル程度を見込んでいる。女性の失業率は 2014 年の 15% から 2015 年には 32.8% に悪化しており、男性の失業率 5.9% と大きな開きがある。(ア紙)

- 5日 諮問評議会は、物価上昇に伴い退職者に対する月給を5%増額することについての検討を始める。退職者の70%は月給2,000SR以下である上、44%は持ち家が無い。(サ紙)
- 8日 労働省は、公式な手続きを行わないと検査官が民間企業の事務所に立ち入り検査を実施することはできないと述べた。他にも、事務所営業時間外の訪問や制服の未着用を禁じた。(ア紙)
- 8日 サーレフ学校教育評価委員は、サウジの教育水準が低い理由として、教育システム、不透明な教育ビジョン、非専門的な教育開発プログラム、および頻繁な大臣の交代が挙げられると述べた。(ア紙)
- 18日 150万人いるサウジ人失業者のうち、30万人は大卒である。毎年13万人が学校を卒業し、サウジの失業率をより悪化させている。大卒の求職者が最も多いのはリヤド州で64,000人、次いでマッカ州で58,000人である。一番少ないのはナジュラン州で5,000人。
- 18日 2015年後半で256,600人の非サウジ人労働者がサウジで就職した。労働者人口の57.7%を非サウジ人が占め、残りの43.3%(498万人)をサウジ人が占める。失業者はサウジ人が647,000人で95.1%を占め、非サウジ人は33,200人であった。非サウジ人男性のほとんどは小売業で、その他20.9%が自動車・バイク修理業、18.9%が建設業に就いている。一方非サウジ人女性は、82.6%がメイドで、8%が医療や社会サービス業に就いている。(ア紙)
- 21日 雇用のサウジ人化を悪用した詐欺的行為が横行している。公共機関に就職を斡旋すると偽って1万リアルを詐取するケースもあり、また民間企業では勤務実態のない名義だけの登録をする例もある。一方でパン屋の開業を目指す起業家は儲けが月2-3千リアルではサウジ人は雇えないと語っている。(ア紙)
- 27日 労働省は工場の生産ラインで働く女性の勤務条件について就業規則を改訂した。早朝6時以前及び夜間7時以降の労働を禁止、また生産ラインでは男女の協働を禁じ女性の人数は10人以上でなければならない。(ア紙)

※ア紙：アラブニュース、サ紙：サウジガゼット